

授業科目(ナンバリング)	スポーツツーリズム(CC102)			担当教員	陳 慶光		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択 (コース必修)
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
<ul style="list-style-type: none"> ・する・みる・ささえるという視点から、スポーツツーリズムに関わる基礎的知識を整理して修得する。 ・様々な事例から、スポーツツーリズムのもつ様々な特徴を分析して、その課題発見に役立てることができる。 							②⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
専門力	(1) スポーツツーリズムの概念を説明できる。 (2) スポーツツーリズムに関する基礎的な用語の使用法を区別できる。			(1) 定期試験 (2) 定期試験 (2) 授業での取り組み		(1) 5% (2) 10% (2) 30%	
情報収集、分析力	(3) 授業で取り扱うスポーツツーリズムに関する代表的な事例について、自らの考えを述べるができる。 (4) 事例を用いて、スポーツツーリズムの背景や現状を説明できる。			(3) 小レポート (4) 定期試験		(3) 20% (4) 35%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出 席				受験要件			
合 計				100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
(1) 定期試験 (50%) : スポーツツーリズムに関する様々な概念の趣旨を身につけているかについて評価する。 (2) 授業での取り組み (30%) : マナバの小テストを利用して、授業内容への理解度、意見の有無およびその理由の具体性・独自性などから評価する。 (3) 小レポート (20%) : 使用したキーワードの適切さ、内容の具体性および論理的に説明ができるかなどから評価する。フィードバックは、マナバおよび授業の中で適宜行う。							
授業の概要							
授業全体を通して、ICT を活用した双方向型授業を行う。スポーツを「する」、スポーツを「みる」、およびスポーツを「ささえる」という視点から、スポーツにより生じた人の移動と地域への影響について理解を深めていく。具体的にはまず、「するスポーツ」として、高地合宿地、マリンスポーツおよびランニング・ブームを取り上げる。次に、「みるスポーツ」として、ボールパーク、プロスポーツとファンの関係などについてみていく。さらに、「ささえるスポーツ」として、スポーツイベント・ボランティアとスポーツクラブ・ボランティアを取り上げる。最後に、SDGs (持続可能な開発目標) の視点からスポーツと地域の関係及びスポーツツーリズムの役割について考えていく。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。 参考書：授業時に紹介するので、詳細を知りたい場合や知識を深めたい場合は参照のこと。 指定図書：日本スポーツツーリズム推進機構編 (2015) : 『スポーツツーリズム・ハンドブック』学芸出版社。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
授業時に紹介した様々な事例から、スポーツとツーリズムにおける課題を積極的に見出してほしい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	イントロダクション	スポーツおよびの概念と、それによって生じる人の移動を概観し、スポーツツーリズムの概念を学ぶ。	復習：シラバスの再読、イントロダクションの配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
2	スポーツをする移動1 —スポーツ合宿地—	高地におけるスポーツ合宿地の形成過程の事例から、スポーツツーリズムによる地域変容について考える。	復習：スポーツをする移動1の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
3	スポーツをする移動2 —ウォータースポーツ—	海岸・河川地域におけるスポーツツーリズムの事例から、スポーツツーリズムの地域へのインパクトについて考える。	復習：スポーツをする移動2の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
4	スポーツをする移動3 —スノーリゾート—	国内外の冬季スポーツのリゾート形成の事例から、スポーツツーリズムの地域へのインパクトについて考える。	復習：スポーツをする移動3の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
5	スポーツをする移動4 —サイクリング—	サイクリングを事例として、近年のスポーツツーリズムのあり方とその背景について学ぶ。	復習：スポーツをする移動4の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
6	スポーツをする移動5 —ランニング・マラソン—	「ランニング/マラソン・ブーム」を事例として、近年のスポーツツーリズムのあり方とその背景について学ぶ。	復習：スポーツをする移動5の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
7	スポーツをみる移動1 —プロスポーツの成立基盤1—	チームと企業・サポーターとの関係から、プロスポーツのあり方の変容について考える。	復習：スポーツをみる移動1の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
8	スポーツをみる移動2 —プロスポーツの成立基盤2—	チームと地域との関係から、プロスポーツのあり方の変容について考える。	復習：スポーツをみる移動2の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
9	スポーツをみる移動3 —ボールパーク—	アメリカのボールパークとの比較から、日本におけるプロ野球場の変化について考える。	復習：スポーツをみる移動3の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
10	スポーツをささえる移動1 —イベント・ボランティア—	大規模なマラソンイベントの事例から、スポーツイベント・ボランティアの役割について考える。	復習：スポーツをささえる移動1の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
11	スポーツをささえる移動2 —クラブ・ボランティア—	スポーツクラブの事例から、スポーツクラブ・ボランティアの役割について学ぶ。	復習：スポーツをささえる移動2の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
12	スポーツと地域1 —スポーツ施設とレガシー論—	オリンピックの事例から、レガシーとしてスポーツ施設の果たしてきた役割・機能について学ぶ。	復習：スポーツと地域1の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
13	スポーツと地域2 —総合型地域スポーツクラブ—	総合型地域スポーツクラブを事例として、地域におけるスポーツのあり方を考える。	復習：スポーツと地域2の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
14	スポーツと地域3 —スポーツとまちづくり—	SDGs (持続可能な開発目標) の視点から、スポーツによるまちづくりのあり方について考える。	復習：スポーツと地域3の配布資料からキーワードを抽出して事例と課題を考える。
15	まとめ	授業全体のまとめを行い、スポーツによって生じる人の移動の諸相をツーリズムの視点から考える。	復習：これまでの講義資料の整理、キーワードの復習。
16	定期試験	筆記試験	予習：定期試験の勉強と対策